

2023年度 物流システム機器生産出荷統計

2024年9月

 公益社団法人
日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

 一般社団法人
日本物流システム機器協会
The Japan Institute of Material Handling

物流システム機器生産出荷統計調査委員会・委員名簿

	所 属	役 職	氏 名
委員 長	早稲田大学	名誉教授	吉本 一穂
副委員 長	村田機械(株)	専務取締役	石山 敏彦
委 員	(株) I H I 物流産業システム	総務部 総務グループ グループ長	今村 壮壺
委 員	オークラ輸送機(株)	営業企画室 係長	石原 智裕
委 員	(株)オカムラ	物流システム事業本部 マーケティング部 部長	町田 憲治
委 員	三機工業(株)	プラント設備事業本部 企画開発部 専門部長	大城 文彦
委 員	住友重機械搬送システム(株)	取締役 マーケティング部 部長	山下 孝司
委 員	西部電機(株)	マテハン事業部 営業部 部長	白竹 健一
委 員	第一工業(株)	搬送システム本店 営業部 営業グループ	三浦 洋
委 員	(株)ダイフク	広報部 参与	高光 巧一
委 員	(株)タクテック	取締役 営業本部長	小原 憲雄
委 員	(株)椿本チエイン	マテハン事業統括 企画管理部 企画管理課 参事	井口 俊
委 員	トーヨーカネツ(株)	ソリューション事業本部 執行役員	國友 宏俊
委 員	(株)豊田自動織機	物流ソリューション事業室 企画管理室 室長	長谷川昌平

(2024年8月現在、敬称略、社名五十音順)

事務局：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所

I. 統計の目的

物流システム機器は生産や流通の効率化、高付加価値化に重要な役割を果たしており、我が国経済の発展のためにもその発展と成長が期待されている。そのためには、関係する企業が適切な経営判断を行えるよう、物流システム機器についての定量的で継続性のあるデータが不可欠である。

このようなことから、物流システム機器の生産出荷状況を定量的かつ継続的に把握することを目的として、標記の調査を実施するものである。なお、本調査は「物流システム機器推進部会」（旧：物流システム機器懇談会）が1985年度から実施している統計を実質的に継承しているが、2007年度調査より新たに調査委員会を設置し、一般社団法人日本物流システム機器協会・統計部会の協力を得て、調査内容の検討・分析を行っている。

II. 調査対象と期間

国内主要物流システム機器メーカーを対象とし、2023年4月から2024年3月までの実績を調査集計したものである。

業種別調査は、調査対象25機種について、機種別に売上件数ベースで主要出荷先上位10業種を選択し、金額構成比を記入する方式としている。各社の各機種の売上金額に金額構成比を乗じて、各機種および小計別に、売上金額の上位10業種および金額のトータルを、グラフにまとめている。

97年度よりフォークリフト等、産業車両分野は一般社団法人日本産業車両協会の調査による統計を別枠で発表している。また、2006年度より、一般社団法人日本パレット協会が調査を実施しているパレット（木製パレット・金属製パレット・プラスチック製パレット・シートパレット・紙製パレットの合計）の生産数量および出荷額をあわせて別枠で掲載している。

2023年度フォークリフトは国内販売実績69,759台で、国内販売向け金額は2,058億5,700万円である。輸出販売実績は31,911台である（一般社団法人日本産業車両協会において、輸出向け販売金額は現在調査していない）。

2023年度パレットは、生産数量が前年比8.0%減少の5,582万枚で、出荷額は1,809億円となっている。

1. アンケート実施状況

- ・実施日程：2024年5月10日発送～6月14日〆切

2. 調査範囲

- ・製造業における組立ライン、ホテル、病院、図書館、オフィス等通常の物流領域以外への出荷を含める（自動車の製造ラインも含む）。
- ・増設・改造等(工事を伴うサービス業務)についても、出荷データに含める。
- ・クリーンルーム向けを含む（クリーンルームの定義は次項参照）。

※増設は、基数、件数、売上金額を含む。

※改造は、売上金額のみ計上し基数、件数は含まない。

3. クリーンルームの定義

- 1) クラス10,000以下
- 2) 該当業種：半導体、FPD関係、太陽電池、HDD、メディアなど
- 3) 医療・食品業界向けは、クリーンルーム向け販売には含めず、エンドユーザーと売買したものに含める（一般物流とする）

4. 調査範囲について

2003年度（調査対象年）より、機器メーカー各社で取扱高が増えたクリーンルーム向けの調査を開始しているが、2004年度までの定義は「クラス10,000以下で半導体を除く」としていた。また、調査範囲を2005年度（調査対象年）より変更しており、2004年度までは「製造業における組み立てライン、ホテル、病院、図書館、オフィス等、通常の物流領域以外への出荷は含まない」としていた。また、2007年度まではパレットおよびロールボックスパレットを調査対象に含めていた。

Ⅲ. 調査対象機種

2020年度調査より、6「無軌道台車システム」の仕様によって項目を細分化し、6-1 無軌道台車システム（パレット）、および6-2 無軌道台車システム（パレット以外）とした。また2023年度調査より、1～5、7、10、17の対象機種内容の記載を、一部見直している。

図表1 調査対象機種

1・2	パレット用自動倉庫 (ビル式・ユニット式)	<ul style="list-style-type: none">・一般的にパレット積みされユニット化された荷を、多段高層の棚及びスタッカークレーン等を使用して自動的に搬入・搬送・搬出できる保管庫をいう。・また、荷を直接ハンドリングするパレットレスのものも含む（ビール樽、新聞用紙など）。
3	バケット用自動倉庫 (ユニット式)	<ul style="list-style-type: none">・一般的に、通箱、バケット、カートンを単位としたものを対象とし、スタッカークレーンやシャトル等を使用して自動的に搬入・搬送・搬出できる保管庫をいう。・仕分け・ピッキング等の機能を有する保管庫も含む。
4	天井走行台車	<ul style="list-style-type: none">・天井から吊下げられた軌道上を、内蔵または外付けの駆動で、キャリアまたは台車に積載した物品を搬送するシステム。・基数は、キャリアまたは台車の数量とする。・金額には、軌道・制御装置・安全網・サブ材を含む。
5	有軌道台車システム	<ul style="list-style-type: none">・地上に設置された軌道上を、内蔵または外付けの駆動で、台車に積載した物品を搬送するシステム。・基数は台車の数量とする。・金額には軌道・制御装置・付属装置を含む。

図表1 調査対象機種（つづき）

6-1	無軌道台車システム (パレット)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種センサーにより誘導される無人搬送台車のうち、パレットの積載が可能なもの。 ・基数は台車の数量とする。金額には制御装置を含む。
6-2	無軌道台車システム (パレット以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種センサーにより誘導される無人搬送台車のうち、パレット以外の積載が可能なもの。 ・基数は台車の数量とする。金額には制御装置を含む。
7	仕分機	<ul style="list-style-type: none"> ・自動にて荷の仕分けを行うもの。 ・構成範囲はインダクション部（誘導部、商品投入部）からソータ本体、仕分けシュートまで（リサークルラインはケース搬送用コンベヤとする）。 ※仕分け・ピッキング等の機能を有する保管庫は、「3 バケット用自動倉庫」を含む。 ・基数は、台数とする。
8	パレット搬送用 コンベヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・パレットを被搬送物とするコンベヤ。 ・対象範囲：パレットを搬送するコンベヤすべてを含む、及びコンベヤ本体を制御する本体制御を含む。
9	ケース搬送用 コンベヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・バケット及びカートンケースを対象としたコンベヤ。ただし、石炭、鉱石、泥等のバルクを搬送するものは除く。 ・対象範囲：ケースを搬送するコンベヤすべてを含む、及びコンベヤ本体を制御する本体制御を含む。
10	ハンガー式コンベヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・天井から吊下げられた軌道上を、チェーンの牽引でハンガーに積載した物品を搬送するシステム。 ・金額には、制御装置・安全網・サブ材を含む。
11	デジタルピッキング 表示器	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの指示によりピッキングする品物の位置と数量を表示する装置。 ・対象範囲：表示器を取り付けている流動棚、中軽量棚、コンベヤは含まない。ただし、回転棚に取り付けているピッキング表示器は回転棚を含む（バッチカル・水平式ともに）。 ・制御関係は本体制御を含み、指示するコンピュータはコンピュータに集計する。
12	ピッキング台車	<ul style="list-style-type: none"> ・ピッキングする品物の位置と数量を表示する装置を取り付けているピッキング用の台車。 ・対象範囲：ピッキング台車本体及びコンソールと、付属する部品（充電器等）も含む。
13・14	回転棚 (垂直式・水平式)	<ul style="list-style-type: none"> ・荷の軽重、制御レベルを問わない。垂直、水平両方式の回転する棚。 ・基数は、台数とする。

図表1 調査対象機種（つづき）

15・16	移動棚 (電動式・手動式)	<ul style="list-style-type: none"> ・電動、手動にて移動する機構を備えた棚。 ・基数は、台数とする。
17	重量棚	<ul style="list-style-type: none"> ・パレット単位のユニットロードを格納する棚で、1棚あたりの重量が約500kgを超えるもの(ネスティングパレットを含む)。
18	中軽量棚	<ul style="list-style-type: none"> ・カートン単位、またはバケット単位などを格納する棚で、1棚あたりの重量が約500kg以下のもの。
19	流動棚	<ul style="list-style-type: none"> ・カートン単位またはバケット単位のものを、傾斜の付いた棚に置き、前面での取り出しを容易にさせたもの。
20	パレタイザ/ デパレタイザ	<ul style="list-style-type: none"> ・バケット、カートンケース、袋物等の物品を自動にてパレット上に整列集積（或いは分離）する装置。 ・機械式、ロボット式のいずれの方式も含む。
21	パレット搬送用垂直搬送機	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の搬入出装置を備え、連続で搬送物を垂直搬送する装置(パレットを被搬送物とする)。 ・ただし、エレベータ、小荷物専用昇降機は含まない。
22	ケース・ピース搬送用垂直搬送機	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の搬入出装置を備え、連続で搬送物を垂直搬送する装置（バケット及びカートンケースを対象とする)。 ・ただし、エレベータ、小荷物専用昇降機は含まない。
23・24	コンピュータ (ハード・ソフト)	<ul style="list-style-type: none"> ・物流機器の情報処理と在庫監視を同期化して行うコンピュータシステムのハード・ソフト。
25	WMS	<ul style="list-style-type: none"> ・物流センター・倉庫等で入荷から出荷までの一連の作業を支援するコンピュータシステム(ハード・ソフト)。 ・対象範囲：物流設備の有無、物流設備との接続の有無を問わない。なお、顧客向けのカスタマイズ、改修等の諸費用を含む。
26	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・以上1～25の分類に該当しないもの。

IV. 調査事項

前項であげた各々の機種につき、A売上件数、B基数、C総売上金額、D海外向金額を調査しており、数値の重複を避けるため、以下の区分で調査を行なっている。

M：同業他社向けに売買したもの

U1：エンドユーザー、商社などと売買したもの

U2：ゼネコン・エンジニアリング・コンピュータ会社と売買したもの

C：クリーンルーム向けに売買したもの

C総売上金額、D海外向金額の数値はいずれも売上ベースであり、売上件数に対応する据付、調整工事を含む全金額とする。ビル式の場合には土木、建築工事の金額を含むものとする（建築の範囲：ラックに付属する屋根・壁）。D海外向金額はC総売上金額の内数である。

なお、売上件数については、例えば同一顧客企業に2回以上納品した場合、部品だけを納品した場合等、回答企業によりカウントの方法が異なる回答が含まれている可能性があり、注意が必要である。

業種別調査は、売上金額を出荷先業種別に調査したものである。業種別調査は、下記の業種分類により調査を行っている。ただし、業種別調査は出荷先上位10業種のみ調査であることに加え、業種別の回答が得られない企業があることから、業種別売上高の総計が総売上金額に一致しない場合がある。

図表2 業種調査の業種分類

業種分類	大分類	業種分類	大分類
1 建設	8 その他	19-1 小売業	5 卸・小売
2 食料品製造	3 食品・医薬等	19-2 通信販売	
3 繊維・衣服	4 その他製造	20 自動車販売	8 その他
4 パルプ・紙加工		21 自動車整備サービス	
5 出版・印刷		22 サービス業	
6 化学		23 倉庫業	6 倉庫・運輸
7 医薬・化粧品・塗料	3 食品・医薬等	24 陸運	
8 石油・ゴム製品	4 その他製造	25 海運	
9 ガラス・窯業・土石製品		26 空運	
10 鉄鋼		27 鉄道	
11 非鉄・金属製品		28 通信	8 その他
12 一般機械器具		29 電気・ガス・水道	
13 電気機械器具	1 電機・精密機器	30 官庁・学校	7 官庁・図書館等
14 自動車/輸送用機械器具	2 輸送機器・部品	31 団体・組合(JA等)	
15 精密機械器具	1 電機・精密機器	32 ホテル	8 その他
16 自動車部品製造	2 輸送機器・部品	33 病院	7 官庁・図書館等
17 その他製造	4 その他製造	34 図書館	
18 卸売業(商社含)	5 卸・小売	35 その他	8 その他

V. 全体の推移

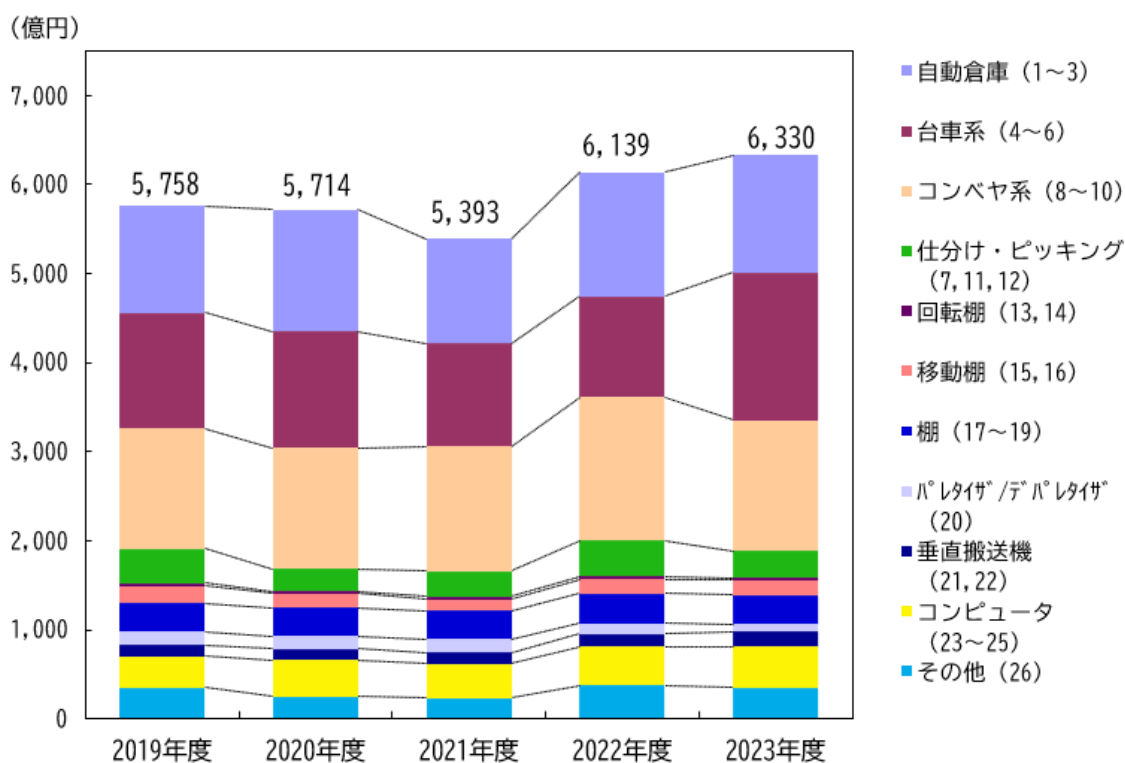
集計の結果、2023年度の物流システム機器の総売上金額は、2022年度の613,916百万円から633,031百万円へと増加（3.1%）となった（図表3）。また、売上件数は2022年度の110,429件から118,357件へと増加した。

総売上金額は、前年度に引き続き600,000百万円を超え、過去最高水準となった。これは、前年度から続く高水準の受注動向と一致する。また、前年度に引き続き売上件数が増加していることから、半導体不足が解消され、出荷が進みつつあるのではないかと推察される。

売上金額を領域別に見ると、海外向けは昨年度よりも増加し、クリーンルーム向けは34.5%の増加となった。業種別に見ると、「電機・精密機器」に対する売上の比率が依然として高水準となっているほか、「輸送機器・部品」や「卸・小売」の業種の売上比率が昨年度より大きく増加している（図表5）。

なお、2013年度調査から業種分類を変更しており、従来「小売業」の内数であった「通信販売」を新たに業種分類として独立させ、調査している。2023年度の「通信販売」の売上金額は43,329百万円であった。この割合は、総売上金額の約6.8%に相当する。

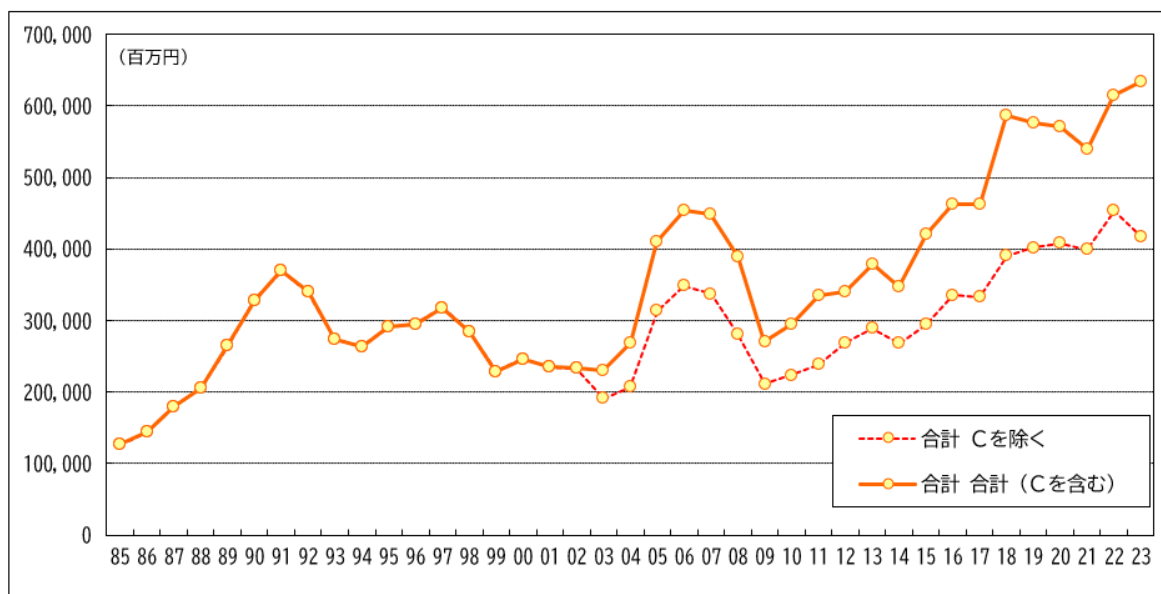
図表3 総売上金額の推移



金額	575,756	571,403	539,301	613,916	633,031	(百万円)
前年比	98	99	94	114	103	(%)

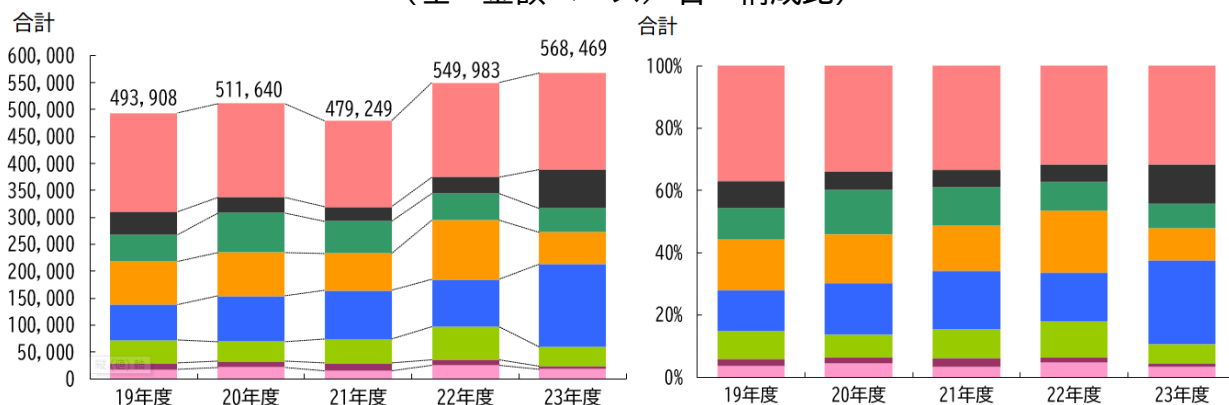
注：凡例の数字は、図表1の番号に対応

図表4 物流システム機器の総売上高（長期時系列）



注：2003年度より、クリーンルーム向け（図中のC）を調査対象に加えており、それ以前の比較のため、Cを除いたグラフも掲載した。

図表5 業種大分類別売上高の推移
（左：金額ベース／右：構成比）



業種別比率(%)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
電機・精密機器	37.1	34.0	33.4	31.7	31.6
輸送機器・部品	8.6	5.7	5.5	5.6	12.6
食品・医薬等	10.1	14.4	12.3	9.1	7.8
その他製造	16.1	15.8	14.5	19.9	10.5
卸・小売	13.3	16.4	18.8	15.9	27.0
倉庫・運輸	8.8	7.3	9.2	11.3	6.2
官庁・図書館等	2.4	2.0	3.0	1.8	1.0
その他	3.6	4.4	3.3	4.7	3.4

注1：業種分類については図表2を参照のこと。

注2：売上高の業種別構成比の記入がない回答があるため、総売上金額の合計と一致しない。

VI. 各機種別の動向

■自動倉庫（1～3）

自動倉庫全体の売上金額を見ると、前年度の139,134百万円から2023年度は132,000百万円へと減少（△5.1%）した。機種別に見ると、バケット用自動倉庫（ユニット式）の売上金額が、82,044百万円から86,382百万円へ増加（5.3%）となった。またクリーンルーム向けについても、前年度の33,841百万円から38,206百万円へ増加（12.9%）する結果となった。なお自動倉庫全体の基数（パレット数）については、2,552千パレットから1,731千パレットへ減少（△32.2%）している。

■台車系（4～6）

台車系は、2023年度については、113,738百万円から165,937百万円と増加（45.9%）の推移となった。一方で基数については、11,429台から11,499台への微増（0.6%）にとどまった。機種別にみると、天井走行台車が93,262百万円から146,869百万円へと増加（57.5%）しており、有軌道台車システムは8,284百万円から5,705百万円へ減少（△31.1%）、また無軌道台車システムは12,192百万円から13,363百万円へ増加（9.6%）となった。

■コンベヤ系（8～10）

コンベヤ系の売上高は、2017年度以降増加の傾向にあったが、2023年度は161,124百万円から146,763百万円へと減少（△8.9%）となった。機種別には、ケース搬送用コンベヤが110,416百万円から87,340百万円へ減少（△20.9%）、ハンガー式コンベヤは6,476百万円から13,111百万円へほぼ倍増（102.5%）し、パレット搬送用コンベヤについては44,232百万円から46,313百万円へ増加（4.7%）した。

■仕分け・ピッキング系（7,11,12）

仕分け・ピッキング系は、2020年度に前年度から大きく売上が減少した。その後増加傾向にあったものの、2023年度は前年度の39,863百万円から29,713百万円へと減少（△25.5%）した。全体の過半以上は仕分機が占めているなか、仕分機の売上金額は、30,290百万円から19,820百万円へ減少（△34.6%）、一方基数については、3,192台から2,764台へと減少（△13.4%）の傾向にある。なお、仕分機の主たるユーザは卸・小売、倉庫・運輸等の内需関連産業であり、それら業種の売上比率が、全体の半数以上を占めている。またデジタルピッキング表示器については、売上金額が8,451百万円から8,982百万円へと増加（6.3%）している。

■回転棚・移動棚（13～16）

回転棚・移動棚の売上高は、2019年度に大きく増加した後、売上が減少に転じた。前年度は売上が増加したが、2023年度は前年度の19,333百万円から19,217百万円へ微減（△0.6%）となった。機種別にみると、売上金額の大半（85.7%）を移動棚が占めている。移動棚の売上は電動式が12,422百万円から13,293百万円へ増加（7.0%）、手動式は3,625百万円から3,182百万円へと減少（△12.2%）した。さらに、回転棚（垂直式）は984百万円から937万円へと減少（△4.8%）し、回転棚（水平式）についても、2,302百万円から1,805百万円へと減少（△21.6%）した。なお、本調査の調査対象はオフィスなど通常の物流以外の領域を含んでいる。たとえば、移動棚（手動式）では「官庁・図書館等」向けが4割以上を占めている。

■棚（17～19）

棚は、重量棚、中軽量棚、流動棚の3機種からなる。売上金額は前年度の33,628百万円に対して、2023年度は32,677百万円と減少（△2.8%）した。内訳として、重量棚が11,289百万円から10,919百万円に減少（△3.3%）、中軽量棚は21,821百万円から21,559円に減少（△1.2%）、流動棚についても518百万円から199百万円へと減少（△61.6%）した。なお棚の出荷先は、例年、卸・小売、官庁・図書館等が多い傾向にあるが、2023年度は前年度に引き続き、特に重量棚、流動棚において卸・小売への出荷割合が増加している。

■パレタイザ/デパレタイザ（20）

パレタイザ/デパレタイザは、2018年度に過去最高水準の金額を示した以降、売上は減少傾向である。2023年度は、前年度の売上高11,471百万円から8,534百万円へと減少（△25.6%）した一方、基数については890台から980台へと増加（10.1%）した。なお出荷先業種は、「食品・医薬等」と「卸・小売」の2業種で大半を占める。

■垂直搬送機（21,22）

垂直搬送機は、売上金額が前年度の14,410百万円から17,118百万円へと増加（18.8%）している。機種別にみると、パレット搬送用垂直搬送機は12,931百万円から14,570百万円に増加（12.7%）し、ケース・ピース搬送用垂直搬送機は1,479百万円から2,548百万円へと大幅に増加（72.3%）している。業種別に見ると、ケース・ピース搬送用垂直搬送機の出荷先は、「電気・精密機械」と「卸・小売」で約8割（79.2%）を占めている。パレット搬送用垂直搬送機は倉庫・運輸が約4割程度（38.3%）を占める。

■コンピュータ（23～25）

コンピュータは、物流システム機器の情報処理や在庫管理を行う、一般的に制御系の機能を含むコンピュータソフト・ハードと、WMS（倉庫管理システム）からなる。このうちWMSについては、本統計が主として物流システム機器のメーカー（エンジニアリング会社を含む）を調査対象としており、カバレッジが充分でない点に留意が必要である。特に、大手情報システムベンダーでは、WMSの機能を含む物流情報システムを個別に開発しているケースが多いと思われるが、上記の理由から本調査ではカバーできていない。

コンピュータ全体の売上金額をみると、2023年度は、前年度の43,482百万円から45,581百万円へと増加（4.8%）した。機種別に見ると、コンピュータ（ハード）が10,799百万円から10,013百万円へ減少（△7.3%）した一方で、またコンピュータ（ソフト）は29,714百万円から32,821百万円へと増加（10.5%）した。なお、コンピュータは物流システム機器の制御等に利用されるものが多く、他の機種の出荷傾向に影響を受ける。

VII. 海外の市場動向

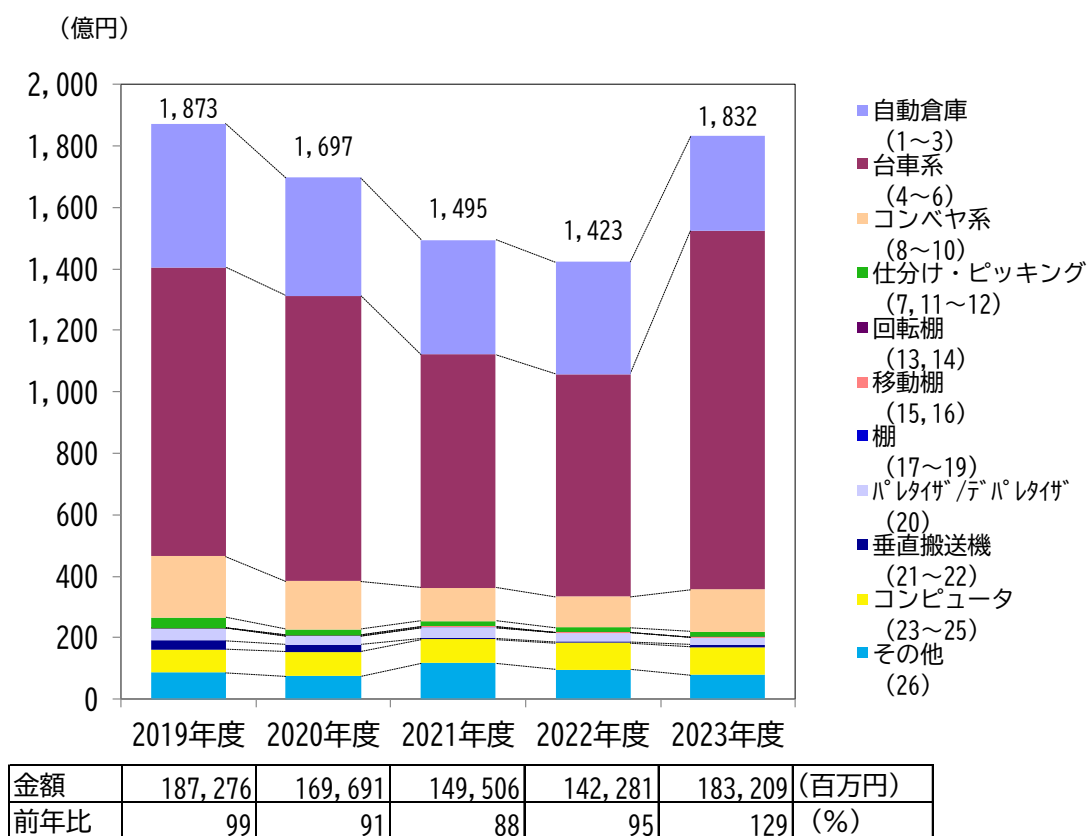
海外向け売上金額は、2022年度の142,281百万円から2023年度は183,209百万円へと増加（28.8%）した。海外向けは従来よりクリーンルーム向けの割合が高く、その影響を強く受ける傾向がある。これに関し、2023年度については、クリーンルーム向けの海外売上高は117,741百万円から159,775百万円へと増加（35.7%）しており、クリーンルーム以外の売上高については、25,033百万円から23,434百万円へと減少（△6.4%）する結果となった。

海外向け売上金額では、台車系が全体の63.8%、自動倉庫が16.7%、コンベヤ系が7.5%、を占め、この3機種で8割以上（88.0%）を占める。

この3機種のうち、台車系は72,542百万円から116,806百万円へ増加（61.0%）、自動倉庫は36,446百万円から30,664百万円に減少（△15.9%）、コンベヤ系は9,987百万円から13,749百万円に増加（37.7%）した。

なお、台車系の海外向け金額は、95%以上がクリーンルーム向けで占められている。またクリーンルーム向けの売上金額は、海外向け総売上に対して87.2%を占めている。

図表6 海外向け売上金額の推移



VIII. 最後に

以上で見てきたとおり、2023年度の総売上金額は、2022年度に引き続き6,000億円を超える結果となった。

引き続き世界的な原材料や燃料の高騰など、社会環境がロジスティクス・物流におよぼす影響はますます大きくなっている。当年度調査で顕著な傾向であった海外向け出荷金額の回復基調から、日本国内のみならず海外の物流システム機器市場も、今後注視が必要と考えられる。一方我が国においては、物流の2024年問題をはじめとした労働力不足への対応をはじめ、経済状況と景気の推移が本調査に与える影響については、引き続き注視する必要がある。

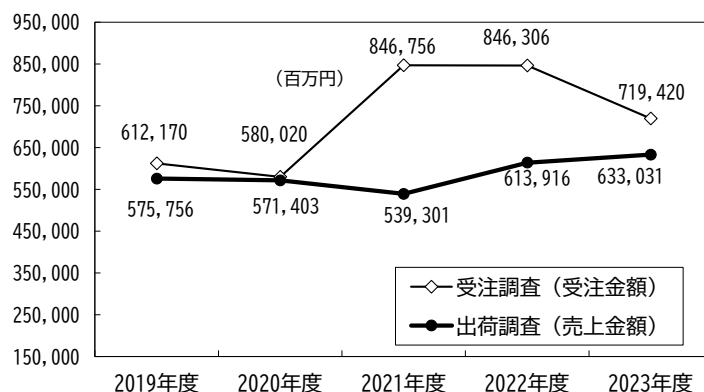
なお本調査では、四半期毎の受注額も調査を行っている。受注調査では、売上高ベースで出荷調査の85%程度に相当する企業の回答を得ている。受注は出荷の先行指標であるが、2023年度の出荷額は、2022年度の受注金額（846,306百万円）の約74.8%となっており、少しずつ物流システム機器の需要と供給が均衡しつつあるのではないかと推察される。

一方、2023年度の受注金額は約7,194億円と、2022年度と比較すると減少傾向が見られるものの、引き続き高い水準にある（図表7）。今後も、受注額と出荷額の差異をはじめとした金額の変動については、動向を注視する必要がある。

以上のように、社会環境が目まぐるしく変化するなか、持続可能な物流の構築は、喫緊の課題となっている。また、近年の国や行政における法改正や政策決定等の動向に応じて、産業界に求められる対応も増えるものと想定される。ロジスティクス・物流は、大きな転換期を迎えているといっても過言ではない。物流システム機器業界として、産業界の持続的な発展に貢献するためにも、さらなる技術革新と標準化を推進し、安全で環境負荷の少ない物流システム機器を提供することが重要である。

図表7 物流システム機器の受注額との比較（参考）

（グラフは、各年度における「売上金額」と「受注金額」を表す。大型の機器等では、受注と売上（出荷）には1年ないしそれ以上のタイムラグが生じる。そのため、受注は売上（出荷）の先行指標となる。



出典：物流システム機器の受注統計整備に関する調査

注：本調査の回答企業は、売上高ベースで「出荷統計調査」の85%程度に限られる。

以上

2023年度 物流システム機器 生産出荷統計

M：同業他社と売買したもの
 U1：エンドユーザー、商社などと売買したもの
 U2：ゼネコン・エンジニアリング・コンピュータ会社と売買したもの
 C：クリーンルーム向けに売買したもの
 計：U1+U2+C

設備機器名	A 売上件数	B 基数		C 売上金額 (百万円)	D 海外向金額 (百万円)	
		(台)	(パレット)			
1 自動倉庫 (1~3) (1.パレット用自動倉庫(ビルド式) 2.パレット用自動倉庫(ユニット式) 3.パレット用自動倉庫(ユニット式))	M	74	102	29,410	12,965	0
	U1	1,628	2,971	1,554,203	88,917	5,951
	U2	59	86	78,348	4,877	0
	C	286	782	98,200	38,206	24,713
	計	1,973	3,839	1,730,751	132,000	30,664
2 台車系 (4~6) (4.天井走行台車 5.有軌道台車システム 6.無軌道台車システム)	M	81	81		693	0
	U1	2,080	1,796		24,645	4,838
	U2	36	21		847	4
	C	527	9,682		140,446	111,964
	計	2,643	11,499		165,937	116,806
3 コンベヤ系 (8~10) (8.パレット搬送用コンベヤ 9.ケース搬送用コンベヤ 10.ハン分一式コンベヤ)	M	1,261			22,890	92
	U1	19,979			128,147	6,438
	U2	303			4,680	65
	C	230			13,936	7,246
	計	20,512			146,763	13,749
4 仕分機 (7) (7.仕分機)	M	270	218		9,197	8
	U1	4,168	2,667		18,679	567
	U2	65	69		821	329
	C	25	28		320	5
	計	4,258	2,764		19,820	901
5 ビッキング系 (11~12) (11.デジタルビッキング表示器 12.ビッキング台車)	M	169	0		1,824	0
	U1	5,105	0		9,893	944
	U2	0	0		0	0
	C	0	0		0	0
	計	5,105	0		9,893	944
6 回転棚 (13~14) (13.回転棚(垂直式) 14.回転棚(水平式))	M	16	25		219	0
	U1	553	108		2,719	25
	U2	8	0		23	0
	C	0	0		0	0
	計	561	108		2,742	25
7 移動棚 (15~16) (15.移動棚(電動式) 16.移動棚(手動式))	M	685	93		2,931	588
	U1	1,989	1,895		15,879	19
	U2	44	149		570	0
	C	1	9		27	0
	計	2,034	2,053		16,475	19
8 棚 (17~19) (17.重量棚 18.中軽量棚 19.流動棚)	M	4,392			3,427	0
	U1	67,832			32,316	0
	U2	508			361	0
	C	0			0	0
	計	68,340			32,677	0
9 バレタイザ/デバレタイザ(20) (20.バレタイザ/デバレタイザ)	M	6	28		1,369	0
	U1	227	963		8,331	2,382
	U2	1	15		143	0
	C	1	2		60	0
	計	229	980		8,534	2,382
10 垂直搬送機 (21~22) (21.パレット搬送用垂直搬送機 22.ケース・ピース搬送用垂直搬送機)	M	65	305		2,597	17
	U1	201	531		9,794	486
	U2	100	325		6,346	20
	C	13	14		979	374
	計	314	870		17,118	880
11 コンピュータ (23~25) (23.コンピュータ(ハード) 24.コンピュータ(ソフト) 25.WMS)	M	85			3,682	0
	U1	2,838			31,867	1,089
	U2	95			940	0
	C	289			12,773	7,833
	計	3,222			45,581	8,922
12 その他 (26) (26.その他)	M	21			95	11
	U1	9,077			26,222	275
	U2	75			64	2
	C	14			9,206	7,640
	計	9,166			35,491	7,917
13 合計 (1~26)	M	7,125	852		61,889	716
	U1	115,677	10,931		397,408	23,014
	U2	1,294	665		19,671	420
	C	1,386	10,517		215,952	159,775
	計	118,357	22,113		633,031	183,209

物流システム機器生産出荷統計表 総売上金額の推移

設 備 機 器 名 ()は集計対象機器(小分類)の番号						
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
自動倉庫 (1~3)	M	2,189	3,864	4,194	4,314	12,965
	C	37,068	33,386	27,250	33,841	38,206
	U1+U2+C	120,184	136,437	118,003	139,134	132,000
台車系 (4~6)	M	1,460	366	469	380	693
	C	103,394	100,006	84,328	90,858	140,446
	U1+U2+C	129,790	131,088	115,764	113,738	165,937
コンベヤ系 (8~10)	M	10,810	18,719	9,173	11,134	22,890
	C	13,302	13,405	9,424	13,869	13,936
	U1+U2+C	134,827	135,612	139,853	161,124	146,763
仕分機 (7)	M	4,140	2,031	4,044	4,968	9,197
	C	293	250	266	753	320
	U1+U2+C	31,732	18,840	18,968	30,290	19,820
ピッキング系 (11,12)	M	410	624	754	522	1,824
	C	0	0	0	0	0
	U1+U2+C	6,828	6,487	9,684	9,573	9,893
回転棚 (13,14)	M	331	275	91	297	219
	C	0	0	0	0	0
	U1+U2+C	3,279	2,572	2,626	3,286	2,742
移動棚 (15,16)	M	476	1,582	2,526	3,016	2,931
	C	0	0	0	0	27
	U1+U2+C	18,884	15,207	12,802	16,047	16,475
棚 (17~19)	M	2,868	2,129	3,262	4,530	3,427
	C	0	0	0	0	0
	U1+U2+C	32,085	32,206	31,954	33,628	32,677
パレタイザ/デパレタイザ (20)	M	372	2,162	1,018	384	1,369
	C	965	0	965	211	60
	U1+U2+C	15,058	14,152	15,312	11,471	8,534
垂直搬送機 (21,22)	M	2,003	2,203	2,193	2,054	2,597
	C	2,545	1,350	1,358	1,011	979
	U1+U2+C	13,106	12,945	12,585	14,410	17,118
コンピュータ (23~25)	M	2,686	323	215	554	3,682
	C	8,615	8,810	8,074	11,127	12,773
	U1+U2+C	34,856	40,744	38,417	43,481	43,482
その他 (26)	M	335	152	192	221	95
	C	7,948	6,354	8,451	8,886	9,206
	U1+U2+C	35,127	25,113	23,333	37,733	35,491
合計 (1~26)	M	28,080	34,430	28,132	32,374	61,889
	C	174,130	163,561	140,115	160,556	215,952
	U1+U2+C	575,756	571,403	539,301	613,916	633,031
※ フォークリフト		234,884	230,296	233,618	243,671	205,857
※ パレット		206,772	169,610	165,976	187,517	180,947

M：同業他社向けに売買したもの
 U1：エンドユーザー、商社などと売買したもの
 U2：ゼネコン・エンジニアリング・コンピュータ会社と売買したもの
 C：クリーンルーム向けに売買したもの

2023年度 物流システム機器生産出荷統計

2024年9月発行

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム
ホームページ <https://www1.logistics.or.jp/>

禁無断転載